

A006

- T: はい、こんにちは、【T】です。
- I: は、こんにちは、【I (フルネーム)】です。
- T: えー、【I (名)】さん。
- I: はい。
- T: はい。  
えーと、【I】さんは、今は高校生ですか？。
- I: 高校1年生です。
- T: い、はい〈はい〉。
- えーと、どちらの高校ですか？。
- I: あ、【学校名】高校です。
- T: といえば、バスケットですね。
- I: ですね。
- T: はい。  
やっぱりバスケット好きですか？。
- I: 好きです。
- T: そうですか〈はい〉。  
えーとー、バスケット、ときどきやったりとか、クラブは？。
- I: 入ってないです。
- T: あー、そうですか〈はい〉。  
でも、好きで、やってらっしゃる〈はい〉。  
そうですか、はい。  
あの、【I】さん、いつごろ日本にいらしたんですか？。
- I: えーと、小学校4年生〈はい〉のときに来た。
- T: そうすと、もう何年になりますかね？。
- I: 8年くらいです。
- T: あー、そうですか〈はい〉。  
えーと、国はどちらでしたか？。
- I: えー、中国です。
- T: はい、中国広いですけども、どこでしょうか？。
- I: えっとね、【地名1】省っていう…
- T: はい、知ってます〈はい〉、はい。
- I: です。
- T: そこのどこですか？。
- I: え、そこの〈うん〉、【地名2】〈うん〉です。
- T: あー、そうですか〈はい〉。  
あの、【地名3】とよく似たところ、【地名3】【地名4】と似たところもあるんですか？。
- I: 似たところ〈うん〉、えー〈うん〉、あんまり覚えてないんですね。
- T: あー、なるほどねー、わかりまし…  
えっと、お住まいは、えー、この【地名4】ですか？。
- I: いや、違います〈はい〉。  
えーと、【地名5】に住んでいます。
- T: そうですか、はい。  
えーとー、でも【地名4】に学校がありますよね〈はい〉。  
ちょっと、わたし初めてなんですけど、【地名4】に来るのが〈はい〉、えーと、どんなところ、もし観光に行くとしたら、どんなところが宜しいです、ちょっと、\*、あの一、詳しく説明してほしいんですね〈え？〉、観光スポット。
- I: 【地名5】ですか？。
- T: あ、【地名5】でもいいです、はい。  
ありますか、なんか。
- I: あ〈はい〉、世界自然ひさん〔遺産〕の〈うん〉【地名6】が〈うん〉ある、です。

A006

- T: そうですか。  
はい、有名ですよ。  
もうちょっと詳しく教えてください。
- I: えーと、なん〈うん〉、えー、あ、はい、えーと…
- T: どうしてそ、有名なんですか？  
世界遺産すごいですよね。
- I: はい。  
ブナの木が、あ、なんだ〈うん〉、えー〈うん〉、なん\*、…。
- T: ブナの木が？
- I: ブナの木がある〈はい〉から〈はい〉、えーと〈うん〉、…、あるからかな。  
わかんないす。
- T: あー、そうですか、ブナの木が有名ですか。  
わかりました、ちょっと今度るとき、行ってき、行きたいと思います〈はい〉{笑}。  
わかりました。  
えーと、さっき、バスケットが好き〈はい、好きです〉。  
で、えーと、わ、わたしも、大昔、バスケットやったんですけど、忘れちゃったんで、あの、ルールを、えーと、わ、えー、詳しく教えてほしいんですけど。  
せつめ…
- I: ルールですか。
- T: うん、ルール。  
時間だとか、いろいろありますよね。  
ちょっと教えてください。
- I: はい〈うん〉、はい。  
で、10分のゲームが〈うん〉4クォーターあって、で〈はい〉、あと〈はい〉、{笑}〈うん〉、あとは…
- T: はい、10分のゲーム4クォーターで？
- I: で〈はい〉、ルール\*か〈うん〉、{笑}、と、ドリブルして〈うん〉、シュートして〈うん〉、あと、あ、ボールを〈はい〉持って〈はい〉3歩以上歩いたらだめで〈ほー、そうでしたね、はい〉、あとは〈うん〉、両手で〈はい〉ドリブルしてもだめです。  
あと、あと〈うん〉、5秒以内に〈うん、うん〉ボールを、あの、出さないといけないんです。
- T: はい、そうでしたね〈です〉。  
もうちょっと、なんか、ありましたっけ？
- I: あと〈うん〉、なんだ。  
あとは〈うん〉、30秒、あ、今25秒になって〈うん〉、25秒〈うん〉以内に〈うん〉シュートをしないといけない。
- T: はい〈\*\*〉、なるほどね〈はい〉。  
だいたいそれぐらいですか、ありがとうございます、はい。
- I: あと思いつかないす。
- T: 少し記憶が、はい、戻ってきました{笑}。  
で、あの一、バスケットの魅力って、どんなところですか？
- I: バスケットの〈うん〉魅力、んと〈うん〉、なんだろうな、あの、なん\*\*\*〈うん〉、えーと、…。
- T: どんなとこ\*〈どんな\*〉、楽しいんですよ〈楽しい\*\*〉。  
ねー。
- I: えーと、あ〈うん、うん〉、パスが出して〈はい〉、あの、すごいかっこいいんです。
- T: はい、かっこいい。  
バスケットをやっている【I】くんは、かっこいい〈いや〉。  
そういうことですね、わかりました、はい{笑}〈そう\*\*\*〉。  
それで、あの、よくね、あの一、大学とかで〈はい〉、バスケットの選手、スポーツ選手だったら〈はい〉、推薦でオッケーっていうが、大学ありますよね〈あります\*〉。  
そういうに、ついて、どう思いますか、賛成ですか、反対ですか？
- I: \*、あー、賛成ですね。

A006

- T: 賛成ですか？
- I: はい。
- T: どうしてですか？
- I: \*\*\*、あの、その、スポーツ〈うん〉の、なんだ〈うん〉、んの、勉強ができなくても、あの〈うん〉、なんだ、\*\*\*〈うん、うん〉、えーとね〈はい〉、{笑}、、、。
- T: できなくても。
- I: できなくても〈うん〉、あの、その、スポーツが得意って〈うん〉、で、その、もっと、やりたい〈うん〉っていう人が〈うん〉、もし勉強できなくて〈うん〉大学に行けなかったら〈うん〉、ちょっと、悲しいかな\*。
- T: あー、なるほど。  
でもね、世の中には一生懸命勉強して、で、頑張っても入れないのに、えー、面接だけで入れちゃうのは〈はい〉、っていう意見もありますけど。
- I: それは〈うん〉、{笑}、それはちょっと…
- T: それは、なんですか？
- I: なんだ〈うん〉、かわいそうです {笑} 〈うん〉。
- T: {笑}、はい、わかりました。  
はい、あの一、テレビとかもよく見ますか？
- I: あ、はい。
- T: そうですか。  
ドラマはいかがですか？
- I: ドラマも見ます。
- T: 見ますか。
- I: はい。
- T: 最近大好きなドラマってなんですか？
- I: 最近ですか。
- T: 今やっているドラマで。
- I: 最近…
- T: 面白いドラマ、なんですか、はい？
- I: あー、最近は〈うん〉、最近は〈うん〉、あ、もう終わったんですけど〈えー、えー〉、最近、あの、【ドラマ名】〈【ドラマ名】〉っていうドラマ。
- T: あー、聞きましたけど〈\*\*\*〉、わたし一度も見なかったんです〈{笑}〉。  
ちょっと、お願いします、教えてください。
- I: はい。
- T: 詳しく教えてくださいね。
- I: えーと、主人公の〈うん〉人が病気で〈はい〉、んと、手術をしないといけなくなって〈うん〉、で、その〈うん〉、手術するまでに、あ、しゅじこ [主人公] は、最初はアメリカにいったんですけど〈ほー、ほー、ほー〉、で、手術をするま [前] に〈はい〉、やりたいことで、で〈うん〉、日本に帰ってきて〈うん〉、で、日本には〈うん〉、その、しゅじこ [主人公] のお兄さんとか〈うん〉、お兄さんの友だちがいて、一緒に〈うん〉、一緒に〈うん〉日本でいろんなことをして〈はい〉、で、なんだ、{笑} 〈はい〉、して〈して〉、んー〈うん〉、で、なんか、だんだん〈うん〉楽しくなって〈うん〉、で、手術して死ぬのは怖くなって〈うん〉、で、したくなくなったから〈うん〉、でも、兄さんたちに説得されて〈うん〉、で、また、受け、手術を受けることになって〈うん〉、で、最後は〈うん〉、手術も成功して〈うん〉、で、終わった {笑}、はい。
- T: ふーん、なるほど。  
えと、そのドラマの、えー、主人公ってどんな人なんですか？
- I: 主人〈うん〉公…
- T: 性格っていうか、人物。
- I: 性格ですか〈うん〉。  
最初は〈うん〉、すぐえ、あの、なんか〈うん〉、おってんばっていうか〈うん〉、なんだ、すごい、やなことをして〈え？、うん〉、あの、人が嫌いなことを〈はい、はい〉して〈はい〉、ただけど〈はい〉、で、だんだん〈うん〉、なんか、なんだろう〈うん〉、だんだんそういうことをしなくなって〈うん〉いくように

A006

なった。

T: あー、みんなの力でね〈はい〉。

いいドラマですね〈はい〉。

ところが、テレビの中には、なんか、暴力のね、テレビがあつたりして、子どもに悪い影響とかも与えてるテレビが〈はい〉あるって聞きませんか、いろいろ？。

I: なんだろう。

T: あんまり見ない。

I: あんまり〈うん〉、はい。

T: そうですか、はい、わかりました〈はい〉。

はい、ちょっと話は変わるんですが、あの一、趣味はなんですか、教えてください。

I: 趣味ですか？。

T: はい。

さっきバ、バスケは好きだっておっしゃったけど、はい、他に、どんなことが好きですか？。

I: 趣味〈うん〉、えと、スポーツは基本的に好きです。

T: スポーツは基本的に好き。

I: はい。

T: バスケと、はい。

I: あと、野球とか〈うん〉、サッカーも好きです、はい。

T: なるほどね。

他には何、スポ、スポーツと？。

I: あ、スポーツ〈うん〉と〈うん〉、趣味ですか〈うん〉。

うーん、うーんとね、あとは、あんまりないかな。

T: あー、そうですか。

もう、体動かすことが好きなんですね。

I: はい。

T: わかりました。

えーと、これは、学校からだから、制服ですね

I: はい。

T: あー、なるほど。

で、えーと一、今、日本の高校には、制服あるところと、ないところがあるんですね〈はい〉。

で、えーと一、【I】さんは、あるほうがいいですか、ないほうがいいですか？。

I: 制服ですか〈うん〉。

あるほうが…

T: そうですか、どうしてですか？。

I: いいと、はい。

T: はい。

ま、このね、制服、かっこいいけど、でも、一般的に制服あるほうがいい。

I: はい。

T: はい、理由を教えてください。

I: まず、えー〈うん〉と、悪いことする、あの、人もいるんで〈うん〉、で、それ、制服見て、すぐどこの高校がせいだか、わかるので、あの、あんまり、悪いことができない、くなるから。

T: あー、なるほどね、そうですね〈はい〉。

それはいいかもしれない〈はい〉。

でも、制服があると、あの、個性がね、せっかく高校生って、いろんな、あの一、服の、\*、あの、センスだとか、ね、自分の着たい、こう、色、カラー着てっていうのがある、ますけど、それがみんな同じでつまらない、っていう意見があるんですけど〈はい〉、だから制服はないほうがいい、っていう意見もありますけど。

それについてはどうですか？。

I: あー、\*、うーん、…

T: もっと個性を生かして、ね、【I】さんに合った格好で、学校行ってもいいんじゃないかな、っていう意見

A006

もありますよね。

I : はい。

なんだ、んー、も、それ〈うん〉、{笑}、、、。

T : どうですか、それについては、うん？。

I : え、{笑}〈はい〉、うーん、個性、、、。

T : はい、どうぞ、どうぞ、ゆっくりどうぞ、はい。

I : んと〈うん、うん〉、えと、なんだ、、、、{笑}〈うん〉、え〈はい〉、なんだ、、、。

T : うん、どうぞ。

えー、制服があったほうが〈はい〉個性が、ねー、その人の個性が出せるからいい、みんなおんなじ服、着ないほうがいいですよ、っていう意見があるんですよね〈\*〉。

それはどうですか？。

I : それも〈うん〉、あるけど〈うん〉、でも〈うん〉、それは、学校以外の〈うん〉ところで〈うん〉、普通に着ればいいんじゃないかな。

T : 学校以外のところで？。

I : はい。

T : はー、なるほどね。

I : 休みの日とか。

T : 休みの日とか？。

I : はい。

T : なるほど {笑}。

それでやればいい〈はい〉。

でも、制服着てると、その学校の人ってわかって、いいってことですね〈はい〉。

じゃー、今、休みの日って出ましたけど〈\*〉、【I】さんが休みの日は、どんな生活ですか？。

I : はい、休みは〈うん〉、普通に友だちと〈うん〉出かけて〈うん〉、みなと遊んで〈うん〉過ごしてます。

T : そうですね〈はい〉。

え、今回、えーと、先週の日曜日も、どっか行きましたか？。

I : 先週は〈うん〉、あ、先週は行ってないです。

T : うん。

えーと、夏休みとか、どっか行ったんですかね？。

ちょっと、1つ…

I : あ、うん、あ、夏休みは〈はい〉、夏休みは友だちと、ボウリングとかに〈うん〉よく行きました。

T : あー、そうですね〈はい〉。

旅行とかは、あまり…

I : いや、行ってないです。

T : 行かないけど〈はい〉、あー、そうですね。

わかりました〈はい〉、はい、なるほど。

で、あの一、さっきね、昨日、携帯で、あの一〈はい〉、えーと、あの一、来てください、って、【人名1】さんがお願いなさってましたけど〈はい〉、あの一、携帯は、もちろん高校では、いつも持って行って…

I : 持ってます。

T : そうですね〈はい〉。

それでね、携帯、今すごく便利で、昨日も助かったんですけど〈はい〉、あの一、小学生がね、携帯持ってはいけない、っていう親が最近多くて〈はい〉、あの一、持たない、あの一、っていう親もいたり〈はい〉、一方で、いや、けいた、携帯があると、危険なときにね〈\*\*\*〉、防止できる、っていう意見があるんですけど〈はい〉、【I】さんは、小学生が携帯持つことは、どう思いますか？。

I : 僕は、べつにいいと思うんですけど〈うん〉、だって、あの〈うん〉、もし〈うん〉危険なことあったら〈うん〉、もう、連絡がとれなくて〈うん〉、で、親も、\*、すごく心配するから〈うん〉、で、持ったほうがいいかな、と思います。

T : そうですね〈はい〉。

だけど、やっぱり、も、持つと、安全は安全だけど〈はい〉、いろんな、あー、問題のことが〈はい〉あったりしますよね？。

A006

I : はい。

T : はい。

携帯持つことによる、ま、事件性みたいなのがありますよね。

I : はい。

あ、でも、それは〈はい〉、使う人が〈うん〉注意をしないといけないので〈うん〉、も、そういう〈はい〉問題を起こさない自信があれば、持てばいい〈はい〉のかな。

T : 注意したり、そういう自信を持たせるには、どうしたらいいんですか {笑} ?。

I : {笑} それ〈うん〉、えー〈うん〉、よくわかんない〈うん〉です。

どうすればいい〈うん〉。

えー、よくわかんないです、…。

T : そうですね、はい。

えーと、【I】さんは日本に来て8年…

I : はい。

T : ですね。

えーとー、来てすぐのときが小学校でしたね〈はい〉。

どんなこと、一番大変でしたか、苦労しましたか？。

I : まず〈はい〉、言葉が、は、通じないことが〈うん〉、まず、一番…

T : でしたね。

I : \*、でした。

T : えー、そのときで、あの、一番忘れられない、なにか、こう、エピソード、話を1つ教えて〈{笑}〉いただけますか、もう忘れちゃったか？。

I : 小学校ですか。

T : なにかあったら、ぜひ。

I : えーと〈うん〉、うーん、まず、こっちに来て、あ、学校に行ったときから、もう、まず、まわりの人、とまじ [友だち] が、も、すごく声をかけてくれて、べつに、言葉がわかんなくても〈ほー、ほー〉、一緒に遊ば、みたいなことを言ってくれて、で、一緒に遊んだのを覚えてます。

T : はー、じゃー、苦労はしたけど〈はい〉、みんなと一緒に、みんなが助けてくれて〈んです〉、あ、そうだったんですか〈はい〉。

【地名4】って、本当にいいところですね、【地名5】、ねー、あの、【地名5】…

I : 【地名5】です。

T : 【地名5】ですか〈はい〉。

そうですか。

なんか、あの、他のところではね、よく、それこそ小学生のいじめのこととか、ありますよね。

I : はい、あ、もう、そういうの、全然なかったです。

T : はー、ああいうの、え、でも、新聞とか、みで、見てて〈はい〉、えー、なぜだと思いますか？。

この【地名4】とか【地名5】には全然ない。

でも実際に多いんですよ〈はい〉。

なぜでしょうか？。

I : なぜ、なぜ\*\*〈うん〉、えー、んー〈はい〉、…、{笑}、よくわかりません。

T : うん、でも多いですよ〈はい〉。

じゃ、同じ、その、えー、ニュースのことで、え、ときどき、あの一、ま、さっきね、テレビでドラマっておっしゃったんだ\*、ニュースも見ますよね？。

I : はい。

T : で、最近、一番、あーこれは、と思うニュースって、なんですか？。

I : 最近〈うん〉…

T : テレビニュースで。

I : あ、うん〈うん〉、最近じゃないけど〈はい〉、ちょっと前に、あの、【地名5】で〈ええ〉、あの、【人名2】って人が…

T : え？。

I : あの、【人名2】〈あつ〉、だっけ、あの、子ども、殺した…

A006

- T: あー, 【地名5】でした\*?。
- I: はい。
- T: はい。
- I: あれが, ちょっと (あー, そうですね), 信じられなかったです。
- T: えー, ちょっと, あれはね, ほんとに悲惨な話 (はい) ですね。  
はい。  
まー, ちょっと, あまり身近な, あの, 話はあれして, あの, 例えば, あの, 高校生はあれですかね, あ  
の一, でも, 政治のあれで, 【人名3】さんっていう, 【人名3】が突然やめちゃいましたよね (はい)。  
あれについては, どうですか?。
- I: あれは, ちょっと無責任かな。
- T: 無責任。
- I: はい。
- T: でも, なぜやめてしまったんでしょうかね?。
- I: な…
- T: 【I】さんは, どうお考えですか?。
- I: なぜ {笑}, えーと, なぜ。  
あの, あまり詳しく見てなかったんで, よくわかんないです。
- T: はー, なるほどね (はい), わかりました。  
えーと, ほかに, その, ちょっと, 【人名2】の話は別として, 他に, なにか, 最近で, こう, ニュースで,  
ってありますか?。
- I: 最近 (はい), 最近なんかあったかな。
- T: んー, なるほどね。  
そうですね, もう, あの, やっぱり, かの, 彼女のね, 事件が, 一番大きいあれですからね。  
で, ちょっと, 最後に1つ聞きたいんですけど, 今ね (はい), えーとー, 【学校名】高校, よくわかりま  
せんけど, いろんな学校で, 授業の時間を, あの, 増やそうという動きがあるんですね。
- I: はい。
- T: ね, それは聞いていますか?。
- I: \*, わかんないんです。
- T: うん, あの, 日本はもうちょっと学力が伸びたほうがいいのか (はい), 授業の時間も増やそう, というよ  
うな (はい), それは, そんなことしても, 小学校, 中学校, 特にね, ま, 高校もあれでしょうけど, べつに,  
学力が伸びるんじゃない, っていう意見と (はい), もっとのびのび, いや, もっと時間を増やそう, という  
意見があるんですけど (はい), 【I】さんは, どちらの考えに賛成ですか?。
- I: おれは, のぼさない [伸ばさない] ほうがいいのか, と思います。
- T: そうですね。  
でも, そうしないと, 算数とか, 数学とかは, 伸びないという…
- I: でも (はい), 増やしても (はい), あの, な, みんなもすごい疲れてて (うん), あの, 今でも, すぐ,  
授業とかも, みんなすごく眠い, くて…
- T: ん, 眠い?。
- I: ね, あ, じゅぎゅちゅ [授業中] とか, 眠くて, で, 全然頭に入なくて (はー), だ, 増やしたら, もっ  
と駄目になるかなと思う。
- T: はー, 中学のときも同じでしたか, 結構多かった?。
- I: 多かったです。
- T: んー。  
でも, それが, なかなか, ね, みんながわからないで, 伸ばせばいいと思ってるんですよね?。
- I: はい。
- T: ね。  
えー, じゃー, それをどうやったら先生方は, 先生方というか, 国のやり方はね, 気がつくでしょうね,  
うん?。
- I: えー, どうし (うん), うん (うん), どう\*,,,, {笑}, えー。
- T: ね, あの, はいどうぞ。

A006

授業伸ばしても、眠くなるだけだからしょうがない〈はい〉、うん。

じゃ、もうちょっと、今の時間で、どうすればいいんですかね？。

時間を増やさないだ、で、もっとよくするためには、どうしたらいいですか？。

I : あの、もっと、楽しく〈うん〉て〈うん〉、で、それで覚えたら〈うん〉、すごくいいかなと思います。

T : うーん、楽しい授業？。

I : はい、あの…

T : じゃ、今、あんまり楽しくない授業、多いですか、中学とかは {笑} ？。

I : おおかったえす [多かったです]。

T : うーん。

I : はい。

{笑}

T : なるほど。

はい、わかりました。

えーと、ありがとうございます…

ここで、ちょっとロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、えーとー、いいですか？。

I : はい。

T : はい、あの一、【I】さんは、い、たくさん友だちいますよね〈はい〉、きつとね。

で、えーとー、とっても親しい友だちに、お金を貸してくださいと頼まれたんですね〈はい〉。

で、えーと、親しい友だちなんですけど、断ってください。

I : はい。

T : はい、えーと、女のお友だちも、い、いろいろいますか、親しい友だち？。

I : はい。

T : ね、じゃ、その人にしま、一番親しい友だちだれですか？。

お名前教えてください。

I : 女ですか？。

T : あ、あまり、いない？。

I : あ、今、高校、あの、あの、\*\*\*…

T : で、あ、男子校ですか？。

I : え、男子校じゃないけど、女子、\*\*〈はい〉、あの、機械科にいないんです。

T : あ、機械科なんですね〈あ、あ〉、あ、わかりました。

じゃー、【I】くんの、いち、【I】さんの一番親しいお友だちで、男性で結構です。

I : じゃ、はい〈うん〉、うん、じゃ…

T : なんて\*\*\*人ですか？。

I : 【人名4】です。

T : 【人名4】くんね、【人名4】、こう、こう、いう、よろしいですね〈はい〉。

今、よみましたけれども。

はい、じゃ、えーと、じゃ、行きますね。

えーと、わたしはその友だちね。

ねー、ねー、【I】、ちょっとね、あの、本買いたいんだけどさ、えー、8000円、すごい高い本なんだけど〈\*〉、それ、ないとさ、宿題できないし、ちょっと、貸してくんない？。

I : わりい、おれ、今、もう、金ないんで、無理。

T : そう、でも、一週間で、ほら、うち、お、親父がさ、行っちゃた、あの、旅行行っちゃって、今ないんだよ、頼むよ、1週間で返すよ。

I : \*、俺もないんだから、あの、ちょっと、わりい、\*…

T : えー、だってさー、一番\*友だちじゃない。

I : だって、ないからしょうがないじゃん {笑}。

T : えー、でもさ、冷たいよね。

I : えー〈うん〉、ちょっと、まだ、お父さんが帰ってきたら、かって。

T : ん、お父さん、何？

I : 帰ってきたら、かってね {笑}。



A006

- T : あー。  
おれの、ともだ、あ、おれの親父が帰ってきたら〈{笑}〉？。  
だ、遅いんだよ、それ。
- I : いいじゃん、それくらい我慢して。
- T : だ、ん、俺のさ、だって我慢できるけど、でも、おれ、宿題やりたいんだよ。  
頼むよ。
- I : え、おれ、聞いてもな。  
ちょ、まじ、金ないから〈うん〉、もう、無理。
- T : ふーん、どうしたらいいかな、本当。  
わかったよ、じゃー、【人名5】に聞いてみる〈\*〉。  
すいません {笑}、失礼しました〈はい〉。  
どうします、8000円貸して、って言われたら？。
- I : まず、ないんで、貸さないです {笑}。
- T : そうですか {笑} 〈はい〉、もしあったらどうしますか？。  
親友だったら貸し…
- I : あー、あったら、貸したかもしんないです。
- T : んー、ねー、高校生にとって8000円って大きいし、ちょっとね〈はい〉、あれですよね。  
はい、わかりました。  
今日は、これで学校終わって、この試験が終わって、どうしますか？。
- I : 今日ですか？。
- T : うん。
- I : 帰ります。
- T : ん、な、何時のひ、あの、えー、自動車ですか、列車ですか？。
- I : えーと、5時〈うん〉ごろ、はい。
- T : で、どれぐらいかかるんですか、お宅ま、家まで？。
- I : 5時、40分くらいかかるか\*。
- T : あー、そうですか。  
で、また宿題もいろいろあって？。
- I : 宿題は、あ、はい、はい。
- T : 大変ですね？。
- I : はい。
- T : でも、えーと、がんばって先生もね、きっと楽しい授業、どんどんこれからやってくれるから {笑}。  
はい、よろしく願います〈ねがいます〉。  
ありがとうございました。
- I : ありがとうございました。